

今年も残りわずかとなり、街の景色にも師走の雰囲気、漂う季節となりました。

最後の一枚となったカレンダーを見ながらこの一年を振り返りますと、「今年もあつという間だったな」と感じる一方で、365日の一日一日がさまざまな出来事の連続であったことに気づかれます。良いこともあれば、思うようにいかなかったこともありました。そうした経験の一つひとつが、私という人間を形づくる大切な糧となり、かけがえのない財産になるのだとしみじみと実感しております。

私にとりまして年末は、そんな一年をそつと振り返り、心を整え直す大切な区切りの時期でもあります。日々の忙しさに追われていると、つい自身を顧みることがおろそかになりがちですが、年の変わり目という節目だからこそ、立ち止まって己と向き合う時間を持つことが大切だと感じています。いわば、心の大掃除の時期です。

過ぎ去った日々を振り返ると、うまくいかなかったことや後悔していること、未来への想いと願いなど、心に積もったさまざまな想いが浮かびます。そうした想いと丁寧に向き合い心のギアを切り替えることで、次の一年に向け、新たな一歩を踏み出す準備が整うように思います。自分自身と誠実に向き合い、清々しい心持ちで新しい年を迎えたいと願っております。

また、年の瀬は、口頃なかなか言葉にできない感謝の思いを、改めて伝える大切な機会でもあります。日々の暮らしは、家族

げん き 元樹だより

市長からのメッセージ

元松 茂樹



市長の部屋

こちらからも
ご覧いただけます



や友人、職場の仲間、そして自分に関わってくださるすべての皆さまの支えがあつてこそです。忙しさの中で、つい言いそびれてしまふ感謝の気持ちを、こうした節目にこそ、心からの感謝を込めて、「今年も一年、ありがとうございました。」と届けたいものです。

市民の皆さまには、今年一年、市政へのご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。皆さまが心穏やかに一年を振り返り、気持ちも新たに新年をお迎えになられますよう、切にお祈り申し上げます。

寒さが一層厳しさを増す折、どうぞご自愛のうえ、健やかな年末年始をお過ごしください。

来る年もどうぞよろしく願いいたします。

香典返し

市社協に次の方々から寄附がありました。厚く御礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

▽本町三丁目	佐久間公弘	亡妻 芳子	(七六)
▽城之浦町	志垣 昭	亡妻 嘉恵子	(九二)
▽上綱田町	西口和子	亡夫 孝明	(七五)
▽北段原町	桑島民子	亡夫 幸介	(八五)
▽走潟町	芥川貴司	亡父 成一	(八六)
▽高柳町	本田静夫	亡妻 マサ子	(八九)
▽城塚町	村山キヌヨ	亡夫 初幸	(八一)
▽松山町	古堀英治	亡母 キミ子	(八八)
▽浦田町	加藤 武	亡母 ノブ子	(九三)
▽住吉町	本田昭代	亡夫 勝嘉	(八七)
▽馬之瀬町	江口誠一	亡妻 茂子	(八九)

社協へのご寄附は、確定申告などで、所得税法と地方税法の「寄附金控除」ができます。
(※11月10日受付分までを掲載)

編集後記

▽先日、門司港を、もじもじ、歩く家族旅行で、娘が似顔絵を描いてもらいました。あまりのかわいさに「これ、うちの子!」と親バカ爆発。その勢いで母の70歳祝いにも似顔絵をプレゼント。絵って本当に「ええ」ですね!描く人でこんなに違ふとは…。私もいつか描けるよう、まずは、絵心、探しから始めます。人生、何事も「絵心」が大事!(東)

▽私は普段少食で、食事を疎かにしがちなのですが、子ども食堂の取材を通して「食の大切さ」を改めて感じました。ガッツ、食べて、寒い12月を、ガッツ、で乗り切りたいと思います!(古)

▽ノリ漁師の田中さん直伝!おすすめのノリの食べ方を紹介します。火をつけたフライパンにごま油を大さじ1杯、一口大に切ったノリを入れて炒めます。ノリの色が深緑色に変わったら、塩を一つまみ和えます。お酒やご飯、おやつで食べておいしい「塩ノリ」の完成です。ぜひ試してみてください。(松)

▽八代市出身で11月1日付の採用。長部田海床路からの夕日に感動。食材も豊かで早速、胃袋も心も満たされています。祖母は宇土から八代へ嫁ぎ、私の体には宇土のDNA。全国の市町村が情報発信で競う中、私も「うちごと」ではおられません。九州のご真ん中で頑張ります。(祐)